

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第116期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	サカイオーベックス株式会社
【英訳名】	SAKAI OVEX CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松木 伸太郎
【本店の所在の場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【最寄りの連絡場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第116期 第3四半期連結 累計期間	第116期 第3四半期連結 会計期間	第115期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	17,116,323	5,419,670	24,871,216
経常利益(千円)	164,757	57,293	769,914
四半期(当期)純損益(千円)	524,388	2,875	58,605
純資産額(千円)	-	7,961,950	8,951,631
総資産額(千円)	-	21,055,628	22,072,910
1株当たり純資産額(円)	-	122.20	135.78
1株当たり四半期(当期)純損益 金額(円)	8.10	0.04	0.89
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	37.5	40.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	5,450	-	1,263,025
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	377,971	-	1,349,172
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	57,324	-	158,409
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	453,625	769,378
従業員数(人)	-	1,002	1,011

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれていません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第116期第3四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり潜在株式が存在していないため、また、第116期第3四半期連結会計期間及び第115期は潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

（1）連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	1,002	[140]
---------	-------	-------

（注）従業員数は就業人員数（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託等）は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を [] 外数で記載しています。

（2）提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	556	[54]
---------	-----	------

（注）従業員数は就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託等）は、当第3四半期会計期間の平均人員を [] 外数で記載しています。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

「染色加工事業」は、従来「染色事業」としていた事業について、第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適切に表示するためにセグメントの名称を変更したものです。

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
染色加工事業(百万円)	3,160
織布事業(百万円)	239
合計(百万円)	3,399

(注) 1. 一部のセグメント間の取引については相殺消去していません。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結会計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
染色加工事業	2,937	561
織布事業	239	98
合計	3,177	660

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
染色加工事業(百万円)	3,170
繊維販売事業(百万円)	1,477
織布事業(百万円)	258
その他の事業(百万円)	513
合計(百万円)	5,419

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しています。
 2. 当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりです。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)
東レ㈱	1,409	26.0
広燃㈱	611	11.3

3. 本表の金額には、消費税等は含まれていません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国に端を發した金融市場の混乱が世界全体の实体经济へ影響を及ぼし、原油・原材料価格の乱高下や急激な円高により景気が急速に後退するとともに、企業収益の大幅な低下により雇用・所得環境が悪化する中、株価低迷や物価上昇により個人消費も低迷しました。

このような経営環境の下、当社グループの当第3四半期連結会計期間の業績は、景気後退の影響を受け、前年同四半期に比べ、主力の染色加工事業を中心に大幅な減収となり、特に染色加工事業においては原油・原材料価格高騰による影響を払拭することができず、収益力は大きく低下しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間の当社グループの売上高は5,419百万円、営業利益は67百万円、経常利益は57百万円、四半期利益は特別損失に事業整理損を計上したことなどにより2百万円となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、スポーツ用途の織編物は堅調でしたが、個人消費の低迷により婦人衣料用途が大幅に減少し、自動車関連資材用途やユニフォーム用途も低迷したことにより、売上高は3,170百万円となりました。

(繊維販売事業)

当事業では、貼付剤支持体用ニットの拡販が順調に進み、テキスタイルの販売も増加しましたが、消費低迷のあおりを受けてアパレル縫製品の販売が低迷したことにより、売上高は1,477百万円となりました。

(織布事業)

当事業においては、高密度薄地織物が減少に転じ、婦人衣料用途の低迷が依然として続いており、売上高は258百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業については、景気後退の影響により電子機器関連や建設不動産関連で減収となり、売上高は513百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は453百万円となり、第2四半期連結会計期間末に比べ152百万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は80百万円の支出となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益22百万円や減価償却費224百万円、たな卸資産の減少154百万円があるものの、仕入債務の減少299百万円や売上債権の増加54百万円などがあったことによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は214百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は143百万円の収入となりました。主な要因は、借入れ収入によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、206百万円です。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、メディカル分野への本格的参入に伴い、貼付基布の量産化に向け、編機関連の設備投資を行いました。その設備の状況は次のとおりです。

事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価額(百万円)				
		建物及び 構築物	機械装置及 び運搬具	土地 (面積千㎡)	その他	合計
マルイテキスタイル(株) 丸編工場(鯖江市)	工場建屋 編機	26	137	-	-	164

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設について、重要な変更はありません。

重要な設備の除却等については、織布事業(マルイテキスタイル(株))の一部整理に伴い、連結財務諸表提出会社からマルイテキスタイル(株)への賃貸資産及びマルイテキスタイル(株)の建物・生産設備の一部除却等に伴う損失の見込み額として、当第3四半期連結会計期間末の流動負債に「事業整理損失引当金」444百万円、当第3四半期連結会計期間の特別利益に、事業整理損として確定した分の事業整理損失引当金を一部取り崩した「事業整理損失引当金戻入額」17百万円を計上しています。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	224,000,000
計	224,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,362,587	68,362,587	(株)東京証券取引所 (第一部)	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は1,000株です。
計	68,362,587	68,362,587	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	-	68,362	-	4,655,044	-	1,536,986

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握していません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,809,000	-	1(1) 「発行済株式」の「内容」欄に記載のとおりです。
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,347,000	64,309	同上
単元未満株式	普通株式 206,587	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	68,362,587	-	-
総株主の議決権	-	64,309	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が36,000株含まれています。

なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数36個が含まれていません。

実質上保有していない当社名義の議決権2個は、実質的に所有していないため、「完全議決権株式(その他)」に含めていません。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サカイオーベックス株式会社	福井市花堂中2丁目15番1号	3,809,000	-	3,809,000	5.57
計	-	3,809,000	-	3,809,000	5.57

(注) 1. 上記の他、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が2,000株あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれています。

2. 当第3四半期会計期間末の自己株式数は3,811千株です。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	135	135	168	160	155	134	105	97	102
最低(円)	116	122	132	135	127	98	60	70	74

(注) 最高・最低株価は、(株)東京証券取引所市場第一部におけるものです。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりです。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
代表取締役会長		三田村 庄一	平成20年9月2日

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	493,781	809,410
受取手形及び売掛金	3,395,029	3,657,329
有価証券	996	998
商品	52,172	55,817
製品	766,018	802,293
原材料	323,859	348,323
仕掛品	530,762	464,666
その他	971,011	993,876
貸倒引当金	30,535	32,306
流動資産合計	6,503,097	7,100,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,100,934	4,228,238
機械装置及び運搬具(純額)	2,568,257	2,741,389
土地	2,709,740	2,706,827
その他(純額)	229,313	138,543
有形固定資産合計	9,608,246	9,814,998
無形固定資産		
のれん	2,665	3,280
その他	74,293	79,797
無形固定資産合計	76,958	83,077
投資その他の資産		
出資金	2,231,871	2,211,174
その他	2,773,391	2,985,095
貸倒引当金	137,937	121,843
投資その他の資産合計	4,867,325	5,074,426
固定資産合計	14,552,530	14,972,502
資産合計	21,055,628	22,072,910

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,205,937	3,886,522
短期借入金	3,902,268	3,302,984
未払法人税等	15,099	77,338
賞与引当金	92,227	341,071
事業整理損失引当金	444,100	-
その他	879,926	711,288
流動負債合計	8,539,559	8,319,205
固定負債		
長期借入金	4,007,607	4,271,929
退職給付引当金	320,956	276,374
負ののれん	4,763	6,296
その他	220,791	247,474
固定負債合計	4,554,117	4,802,074
負債合計	13,093,677	13,121,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	1,706,584	2,426,314
自己株式	794,899	712,910
株主資本合計	7,604,091	8,405,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,429	229,979
繰延ヘッジ損益	30,392	12,167
為替換算調整勘定	204,006	217,476
評価・換算差額等合計	284,043	435,288
少数株主持分	73,815	110,532
純資産合計	7,961,950	8,951,631
負債純資産合計	21,055,628	22,072,910

(2) 【 四半期連結損益計算書 】
【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)
売上高	17,116,323
売上原価	15,057,099
売上総利益	2,059,224
販売費及び一般管理費	₁ 1,895,389
営業利益	163,835
営業外収益	
受取利息	2,516
受取配当金	29,026
負ののれん償却額	1,547
持分法による投資利益	36,176
その他	58,649
営業外収益合計	127,916
営業外費用	
支払利息	98,454
その他	28,539
営業外費用合計	126,994
経常利益	164,757
特別利益	
固定資産売却益	33,265
貸倒引当金戻入額	7,846
その他	254
特別利益合計	41,366
特別損失	
事業整理損失引当金繰入額	₂ 444,100
事業整理損	₃ 40,018
その他	178,765
特別損失合計	662,884
税金等調整前四半期純損失 ()	456,760
法人税、住民税及び事業税	57,664
法人税等調整額	46,562
法人税等合計	104,226
少数株主損失 ()	36,598
四半期純損失 ()	524,388

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	5,419,670
売上原価	4,764,580
売上総利益	655,090
販売費及び一般管理費	¹ 587,446
営業利益	67,643
営業外収益	
受取利息	472
受取配当金	10,357
負ののれん償却額	525
持分法による投資利益	2,020
その他	20,741
営業外収益合計	34,117
営業外費用	
支払利息	33,252
その他	11,215
営業外費用合計	44,467
経常利益	57,293
特別利益	
事業整理損失引当金戻入額	² 17,881
その他	974
特別利益合計	18,855
特別損失	
たな卸資産評価損	27,729
投資有価証券評価損	23,418
その他	2,702
特別損失合計	53,849
税金等調整前四半期純利益	22,299
法人税、住民税及び事業税	17,733
法人税等調整額	48,329
法人税等合計	30,596
少数株主損失()	11,172
四半期純利益	2,875

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	456,760
減価償却費	707,659
のれん償却額	932
貸倒引当金の増減額(は減少)	14,323
事業整理損失引当金の増減額(は減少)	444,100
事業整理損	40,018
受取利息及び受取配当金	31,542
支払利息	98,454
為替差損益(は益)	556
持分法による投資損益(は益)	36,176
売上債権の増減額(は増加)	262,299
たな卸資産の増減額(は増加)	33,962
仕入債務の増減額(は減少)	680,585
その他	174,349
小計	221,028
利息及び配当金の受取額	31,604
利息の支払額	97,631
事業整理による支出	29,648
法人税等の支払額	119,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	420,240
有形固定資産の売却による収入	45,431
投資有価証券の取得による支出	6,335
投資有価証券の売却による収入	1,294
その他	1,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	377,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	536,000
長期借入れによる収入	1,322,843
長期借入金の返済による支出	1,523,881
自己株式の取得による支出	81,988
配当金の支払額	195,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	556
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	315,753
現金及び現金同等物の期首残高	769,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	453,625

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
会計処理基準に関する事項 の変更	<p>1. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>たな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、原価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。これにより、当第3四半期連結累計期間において、特別損失に44,385千円を計上し、税金等調整前四半期純損失が44,385千円増加しています。</p> <p>2. リース取引に関する会計基準の適用</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しています。なお、これによる損益に与える影響は、当第3四半期連結累計期間においてはありませぬ。</p>

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
当社及び連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、改正後の法人税法に基づく減価償却方法を適用しています。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は、従来と同一の基準によった場合と比べ、それぞれ24,125千円減少し、税金等調整前四半期純損失は24,125千円増加しています。なお、セグメント情報に与える影響については当該箇所に記載しています。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
有形固定資産の減価償却累計額 有形固定資産の減価償却累計額は、24,505,753千円です。	有形固定資産の減価償却累計額 有形固定資産の減価償却累計額は、24,236,650千円です。

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。	
給与手当賞与 賞与引当金繰入額 減価償却費 退職給付費用 貸倒引当金繰入額 のれん償却額	955,144千円 千円 31,153 千円 108,340 千円 57,901 千円 20,733 千円 615千円
2. 事業整理損失引当金繰入額の内容 織布事業(マルイテキスタイル株)の一部整理のための費用を計上したものです。	
3. 事業整理損の内容 織布事業(マルイテキスタイル株)の一部整理による固定資産除売却損益10,369千円、解体工事費用29,648千円です。	

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。	
給与手当賞与	350,696千円
賞与引当金繰入額	31,153千円
減価償却費	35,557千円
退職給付費用	18,704千円
貸倒引当金繰入額	825千円
のれん償却額	205千円
2. 事業整理損失引当金戻入額の内容 織布事業(マルイテキスタイル株)の一部整理のための費用のうち、事業整理損として確定した分の事業整理損失引当金を一部取り崩したものです。	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	493,781
預入期間が3か月を超える定期預金	40,156
現金及び現金同等物	453,625

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

- 発行済株式の種類及び総数
普通株式 68,362千株
- 自己株式の種類及び株式数
普通株式 3,811千株
- 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
- 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月20日 定時株主総会	普通株式	195,341	3.0	平成20年3月31日	平成20年6月23日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	染色加工事業 (千円)	繊維販売事業 (千円)	織布事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,170,603	1,477,672	258,323	513,071	5,419,670	-	5,419,670
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,369	7,703	57,384	131,066	197,523	(197,523)	-
計	3,171,972	1,485,375	315,707	644,138	5,617,194	(197,523)	5,419,670
営業損益	26,197	40,368	17,005	25,103	74,662	(7,019)	67,643

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	染色加工事業 (千円)	繊維販売事業 (千円)	織布事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,741,951	4,652,958	848,563	1,872,850	17,116,323	-	17,116,323
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	4,503	28,795	193,133	326,383	552,815	(552,815)	-
計	9,746,455	4,681,753	1,041,696	2,199,233	17,669,139	(552,815)	17,116,323
営業損益	55,884	65,097	53,007	109,537	177,512	(13,677)	163,835

(注) 1. 「染色加工事業」は、従来「染色事業」としていた事業について、第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適切に表示するためにセグメントの名称を変更したものです。

2. 事業区分の方法は、「日本標準産業分類」を参考に、当社管理上の区分を勘案して区分しています。

3. 各事業に属する主要な製品の名称

染色加工事業	製品名	織・編物の染色整理加工品
繊維販売事業	製品名	織・編物、繊維製品、衣料品、生活雑貨品等
織布事業	製品名	撚糸品及び織・編物の製織品
その他の事業	製品名	F A 関連機器、電子機器基板及び人工魚礁、建設不動産業等

4. 追加情報

「追加情報」に記載のとおり、当社及び連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、改正後の法人税法に基づく減価償却方法を適用しています。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、従来と同一の基準によった場合と比べ「染色加工事業」で228千円、「織布事業」で8,270千円、「その他の事業」で15,626千円減少しています。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高（千円）	92,934	237,669	352,089	682,693
連結売上高（千円）	-	-	-	5,419,670
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	1.7	4.4	6.5	12.6

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高（千円）	296,635	872,590	1,106,250	2,275,476
連結売上高（千円）	-	-	-	17,116,323
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	1.7	5.1	6.5	13.3

(注) 1. 地域は、地理的の近接度により区分しています。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりです。

(1) 北米米国、カナダ

(2) アジア.....香港、シンガポール、中国、韓国、その他の諸国

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 122.20円	1株当たり純資産額 135.78円

2. 1株当たり四半期純損益金額

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額 8.10円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり四半期純利益金額 0.04円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純損益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期純損益（千円）	524,388	2,875
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純損益（千円）	524,388	2,875
期中平均株式数（千株）	64,767	64,552

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月12日

サカイオーベックス株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 裕之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安久 彰 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサカイオーベックス株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サカイオーベックス株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。